

チャレンジ工房News

第 28 号

平成 25 年 7 月 発行
発行先 パソコン工房チャレンジ
編集責任者 曲 圭子

工房の日々 ～それぞれの研修風景～

Word・Excelの研修

4月から当工房に入所された所員さんの中で毎日通所されて、朝から夕方まで熱心に研修をされておられる A さんは4月から6月までの3ヶ月の間でWordの基礎、応用とExcelの基礎の3冊のテキストをやり終え、「Excelの基礎のテキストをしていたら、Wordのテキストで勉強してたことが、だんだん忘れかけてしまっている・・・」と言われ、今はWordの復習を兼ねてWordのドリルをされています。



Aさんは、工房に通所され始めてから本格的にパソコンの勉強をされたので、Wordのインデント・タブやExcelの改ページプレビューや関数などの専門的用語の意味を自分なりに理解するのに、かなり苦労されていて、ドリルの問題をやっては、またテキストに戻り、理解ができるまで繰り返し反復してやられています。

土・日もテキストやドリルを自宅に持ち帰って、その週に工房でやったことを一通り復習されているみたいで、Aさんの研修に取り組む前向きな姿には、私も頭が下がるほどです。

また、当工房開所当時から通所されている最年長のBさんは、まだまだ工務店を営んでいる現役の大工さんで、仕事の合間に軽トラックで毎回、自宅用のノートパソコンを持参して通所されています。

当工房に入所された頃は、パソコンは全くの初心者で電源の起動の仕方、シャットダウンの仕方・テキストの入力の仕方やデータファイル保存・開き方…といったパソコンの画面上で行う操作、1つひとつがBさんにとって初めてやられる操作ばかりの上に、「ワードアード」「セル」「関数」などの日頃のお仕事では聞き慣れない言葉ばかりで、Bさん自身もかなりパソコンに慣れるまで悪戦苦闘されていました。



あまり、Bさんのように高齢になってからパソコンに挑戦する方は、少ないので私たちスタッフも「Bさんには分かりやすくパソコンを学んでもらい、これからの一つの趣味にしてもらえば」と思い、他のテキストと比較して、少し内容が易しめでテキストの活字も大き目のWordとExcelのテキストを用意したり、なるべくBさんが通所されたらマンツーマンで指導させて貰っています。

私たちの思いにBさんも答えて下さり、通所されたら休憩することもなく黙々とパソコンやテキストに向かって研修に取り組み、工房で使用しているWordとExcelの標準的な基礎のテキストだけでは理解しにくい所員さんに勧めている4冊の基礎レベルのテキストをされて、だいぶとWordやExcelの基礎の力をつけられました。

今は、標準的なWordやExcelの基礎のテキストされており、私たちが横で時々アドバイスをさせて貰うだけで、あとはBさん自分の力でテキストをこなされるまでになりました。

研修指導計画を考え、テキスト等を選定している私にとっても、とても嬉しいことで、次の研修段階のテキストや教材を用意していく1つの励みになります。

Bさんには、今後インターネットやデジカメに挑戦して貰い、更にパソコンでの趣味の幅を広めて貰えばと思っています。

7月・8月の日程



7/22(月) 工房内レク
13:00 ～15:00
参加費:無料

※今月の工房内レクはみんなでカラオケを楽しむ予定です。

7/27(土) 大庄地区夏の集い
10:00 ～13:00
大庄支所

※当日は東北の障害者作業所の作業品を販売するブースを出店します。

8/10(土) ～ 8/18(日)
夏期休業

※夏の暑い1週間所員・スタッフの心身のリフレッシュを図るため、夏期休暇を頂きます。



Bさんに工房駐車場の「さつき」を手入れして貰いました・・・

映画鑑賞会をしました・・・

先月の19日に6月期の工房内レクとして、映画鑑賞会をしました。

いつものように、所員・スタッフで観たい映画のリストを挙げ投票した結果、女性陣はディズニー系の映画、男性陣は高倉健の主演の映画に票が集ったので、比率が多い男性陣の意見を採用して、今回は高倉健主演の映画「あなたへ」を鑑賞しました。

映画自体は、富山の刑務所で刑務官をしていた倉島英二(高倉健)のもとに、亡き妻が残した絵葉書が届き、その絵葉書には今まで知らされることの無かった「故郷の海に散骨して欲しい」という亡き妻のメッセージがあり、その真意を知るために高倉健が富山から妻の故郷の長崎の港町まで色々な人と出会い、絆を持ちながら車で一人旅をするといった映画でした。

核家族化やコミュニティ社会の崩壊によって、「人と人との絆」が薄れかけている今日この頃、改めて「人と人との絆の大事さ」を再認識させられました。



新連載企画 わーど温故知新

今月からCさんの「ふらっと写真散歩」とともにCさんと同じく当工房開所時からの所員のDさんに新コーナー「わーど温故知新」というWordの豆知識などを紹介する連載記事を書いてもらうことになりました。

「温故知新」は過去に学んだことなどを研究し、更に新しい知識を深めるといった意味らしいようです。

今月はクリックアンドタイプです。ワードの文章の行の空白でダブルクリックすることで、左揃えや中央揃え、字下げの機能です。

通常、文字を入力する場合、Iの形になっていると思います。クリックアンドタイプを使うとマウスポインターの形が変化します。文書の文字を入力したい空白のところに文字、図、表などを入力することができます。

普通、文字列を入力してから配置を変える場合、その段落にカーソルを合わせて、ツールバーの右揃えや中央揃えのアイコンをクリックして移動させますが、配置を変えるのにダブルクリックだけで決定することができます。

例として中央揃えのツールバーのアイコンのようなマークが、ポインターと一緒に表示されている状態でダブルクリックすると中央揃えが設定され、そこから文字入力ができるようになります。

作成している文章などのマウスポインターが下記の表に対応するマークのときにダブルクリックします。それから文字を入力するとその位置に文字が入力されます。

パソコンに慣れるまではアイコンを使って一つずつ文字の配置を変えるのが一番と思いますが、参考にしてみてください。ちなみにテキストではWord基礎2003、2007の第3章に載っていますので、(2010には載っていませんが方法は同じです)応用としてやってみてはいかがでしょうか。

基本を大事に研修していただくのが一番ですので、慣れた頃に遊び感覚でいろいろと試して頂くのもよいと思います。

	字下げ 1文字分の字下げの位置から文章を入力します		中央揃え 中央の位置から文章を入力します (段落が設定されていない場合)
	左揃え 左の位置から文章を入力します (段落が設定されていない場合)		右揃え 右の位置から文章を入力します (段落が設定されていない場合)

ふらっと散歩写真

今月もCさんが鳥取県の大山に旅行に行ったときの写真や神戸森林公園の紫陽花の写真を届けてくれました。ご鑑賞のほど下さい。



雄大な大山富士



神戸森林公園にて
紫陽花



尼崎農業公園にて
菖蒲